

佐倉市建設工事、H21・H22年度は予定価格より各5億円安く契約（落札率77%）

十数年前の入札状況

右の新聞記事の如く、十数年前の佐倉市の入札は、ほとんどが99%程度の落札率（落札金額を予定価格で除した値（%））であった。

佐倉市民オンブズマン
入札改革への取り組み

佐倉市民オンブズマンは、右記事の如く、十数年前から取り組み、成果が上がってきた。

具体的には、入札予定価格の公表、見積りの証拠保存、違約金支払い、一般競争入札の推進、入札参加業者数の増などである。

長期間にわたる、入札に対するチェックには多くの抵抗があった。例えば、一般競争入札に反対する意見、決算や予算委員会における資料請求に対する抵抗など。しかし、駅頭や、電話、手紙、メール等による多くの励ましや情報提供もいただいた。それらの私

達への支えにより、寒い朝の
ピラマキ、暑い夏のポスティ
ング等厳しい環境での活動も
続けてくることが出来た。

その後の状況

下表（佐倉市HPより計算）
の如く、建設工事の落札率は、
大幅に下がっている。

H17年度より、一般競争入札に移行（指名競争入札を廃止）。その結果、H17年度落札率は73%と低くなり、予定価格に比べ、3.7億円安い契約となった。

また、H21年度には、落札率が77%になり、予定価格より5.2億円安い契約となる。さらに、H22年度も同じく約5億円（別途調査）安く契約できている。担当部門を含めた地道な努力の結果と考えられる。

下表の執行残額は、他用途の予算として使われている。

なお、今後は公契約条例（労賃の保障）なども検討課題になってくる。

佐倉市 建設工事（土木、建築、電気等工事）契約状況（千円）					
年度	件数	予定価格	契約金額	落札率（％）	執行残額
H15年度	135	3,722,929	3,492,480	93.81	230,449
H16年度	98	1,822,756	1,615,326	88.62	207,430
H17年度	72	1,378,979	1,008,723	73.15	370,256
H18年度	74	769,661	661,293	85.92	108,368
H19年度	96	1,342,396	1,153,387	85.92	189,009
H20年度	84	2,774,010	2,489,674	89.75	284,336
H21年度	123	2,355,639	1,827,269	77.57	528,370
計	682	14,166,370	12,248,152	(平均) 84.96	1,918,218

千葉県の入札

約5年前の千葉県の入札実態は右の新聞記事のごとく、ほとんどが落札率95%以上であった（総務省HPでは、千葉県のH20年度落札率は、92.8%）。現在、千葉県では入札全体の集計データ等を公表していない。入札に関しては佐倉市より遅れており、改革の余地が多い。

千葉県工事の入札概要

入札の種類

250万円以上（工事予定価格）は、指名又は一般競争入札。同5000万円以上は、一般競争入札。全国知事会が指名競争入札の早期廃止指針を示したが、千葉県はまだ廃止していない。

低入札調査基準価格（予定価格5000万円以上）

直接工事費（95%）、共通仮設費（90%）、現場管理費（70%）、一般管理費等（30%）の合計×105%＝これ以下の入札金額では調査し、問題なければ契約

となる。

最低制限価格

5000万円未満の工事の場合、予定価格の70%～90%の範囲内で最低制限価格があり、これより低い金額では失格となる。

総合評価方式

予定価格5000万円以上に適用する。評価値＝技術評価点÷入札価格（税抜き）として、評価値の高い業者を落札者とする。

必要な入札改革

入札結果の十分な公表が行われていないので、年間の入札結果等を集計、公表し入札全体を把握できるようにすべきである。

最低制限価格に張り付いた落札価格が多い。制限価格を更に下げ、競争を高める必要がある。

総合評価方式の評価委員、選定委員は元行政関係者が多い。公正を期するため、幅広い分野からの人選をする必要がある。

担当課の裁量が多過ぎるので、裁量を制限する必要がある。

佐倉市民オンブズマン 佐倉市の入札状況を調査 (朝日新聞1999年8月5日)

九注十年計割予差とン表の、たも七%ン
佐八度し五件に定でが、ン、の、表、
倉のたの(十)当価落四ブズ、の、
市公土金件とるの額木共のが、
一五工工一上ベう一四れ佐藤、
九事年九事、ス、以%倉、
間、の、で、上、の、約、内、た、民、次、良、
に、四、位、各、發、の、九、の、が、こ、オ、代、ま、
發、各、位、の、九、の、が、こ、オ、代、ま、

佐倉市発注土木工事

以て価 制か一調 考度は競孝いお格り
 外落格土 度け連査市 えの事争市か つかに
 の札と木をにのし民だ。見実が長 た漏も
 六さの工使 汚たオ 直 働はとりれ不
 件れ差事 つ市職のン しとい 指した自
 もたがで の事はブ をして結摘たり然
 四一は 情件計ズ 検 い果 の、
 予十 報を百マ 討入なして 渡で談予
 定四以予 た。公き件 ずれい 貫は合定
 価件内定 開 つ が る制の 博なが価

広いわ定事決を当て%七の内定た五格
 聴ゝるしの裁基者予い以件二だ価、%と
 課こまて場者準が定る内は十つ格建しの
 はので封合へに積価。の予三たと築か差
 ったは印は一、算格差定件二の工な一
 額め開。助千入しはで価の十差事か・
 が、封入役万札た、落格う七がでつ二
 も市さ札一円当設設札かち件一もた丁
 れ広れががの日計計さら、以%、二
 報な終決工に額担れ五十外以予ま・

(朝話改公う者調今　るたににいでるこ
 (一日し革表、間査回し。結従公て落。と
 1999年新た。をす事の結のか　果い表は札予は
 9年聞　　検る前競果オし　　「、さ、さ定な
 年　　討なに争をン、　　と適れ各れ価い
 8しど予を受ブ綿　　説切る業る格「
 月たの定促けズ貫　　明に設者こにと
 5い、価せ、マ市　　し積計がと近し
 日「制格る、ン長　　て算図事にいて
)(と度をよ業のは　　いし書前つ額い

県に開示請求して得た改札調書を集計したところ、今年4、9月の同部発注工事（予定価格250万円以上）の入札は計696件（落札金額189億6596万円）。そのうち落札率が95%以上だったのは549件で、全体の78・9%に上ったのは、落札率が最も高かったのは、指名競争入札で行われた葛南地域整備センター発注の「県単交通安全対策工事」（予定価格360万1500円）で100%だった。指名5社のうち3社が辞退し、2社がいずれも予定価

格と同額で応札。くじ引きで落札業者が決められた。ほかにも99%台が21件、98%台が163件あった。

県のためでは、今年度県発注工事の単純平均落札率は（11月末現在）は低入札が相次ぐ一般競争入札で77・8%（18件）なのに対し、指名競争入札は96・2%（2046件）入札方式によって差が出ていることについて、県建設・不動産業課は「指名競争入札は地元業者を指名するケースが多く、利益を薄くしてでも工事を

取るのは経営的に難しい部分があるのではないかとしている。

県は今年度、原則として予定価格2億円以上の工事に一般競争入札を導入したが、1億円未満の工事は指名競争入札が大半。全国知事会は、指名競争入札の早期廃止、予定価格1000万円以上の事業に一般競争入札を導入する、などを盛り込んだ改革指針を示しており、県も対応を迫られそうだ。

読売新聞（2006年12月29日）

(読売新聞2006年12月29日)

今年度前半に県土整備部が発注した公共工事の8割近くで、予定価格に対する落札価格の割合を示す「落札率」が95%を超えていたことが、読売新聞千葉支局の集計でわかった。県は一般競争入札の範囲を拡大したものの、依然として多くを占める指名競争入札で落札率が高止まりしているのが現状。全国で談合事件の摘発が相次ぐ中だけに、今後は落札率の低減に向けたさらなる改革が求められそうだ。

県土整備部
発注工事

落札率95%超、8割
指名競争入札で高止まり

予定価格と1%以内の差で落札

オンブズマン調べ
市、見直し検討